

職場における熱中症による死傷災害（休業4日以上）の発生状況

＜神奈川労働局管内：平成30年2月末時点速報値＞

1 熱中症による死傷者数の推移（平成20～29年分）

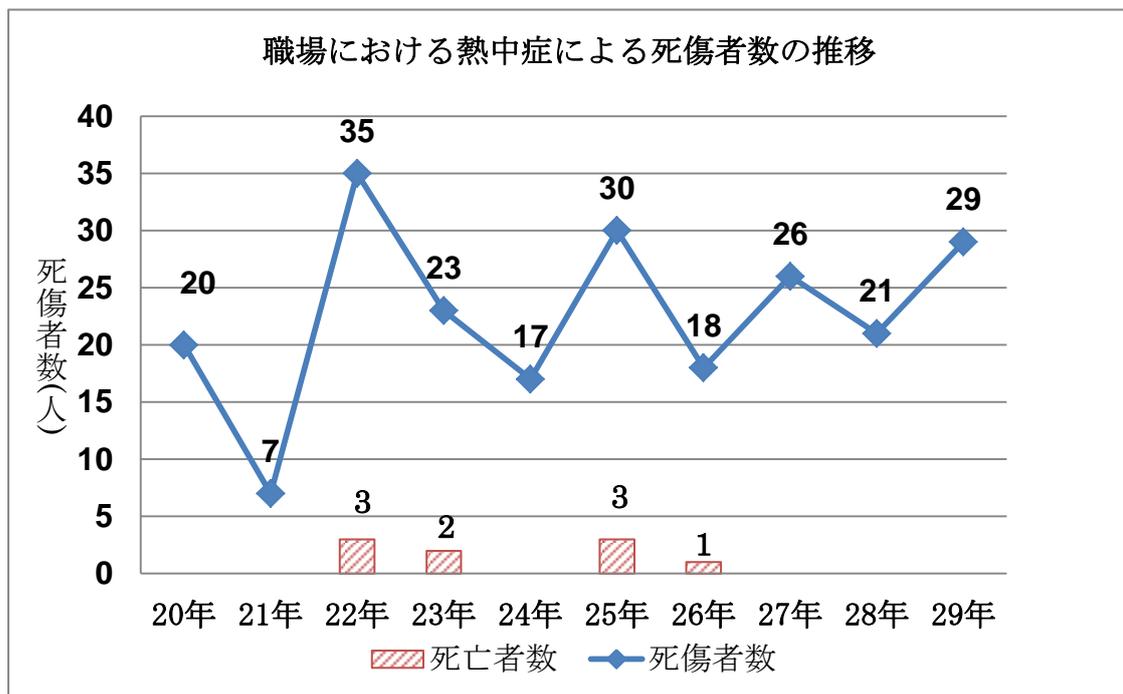
平成20年以降の熱中症による死亡者及び休業4日以上の業務上疾病者の数（以下合わせて「死傷者数」という。）をみると、平成22年に35人と最多であり、その後も増減を繰り返している。

平成29年は、死亡者数が平成27年より3年引き続きゼロとなったが、休業4日以上の業務上疾病者数は29人と増加した。

職場における熱中症による死傷者数の推移（平成20～29年）（人）

20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
20	7	35	23	17	30	18	26	21	29
(0)	(0)	(3)	(2)	(0)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)

（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数



※ 平成29年の数は平成30年2月末時点であり、今後、修正されることがあり得る。

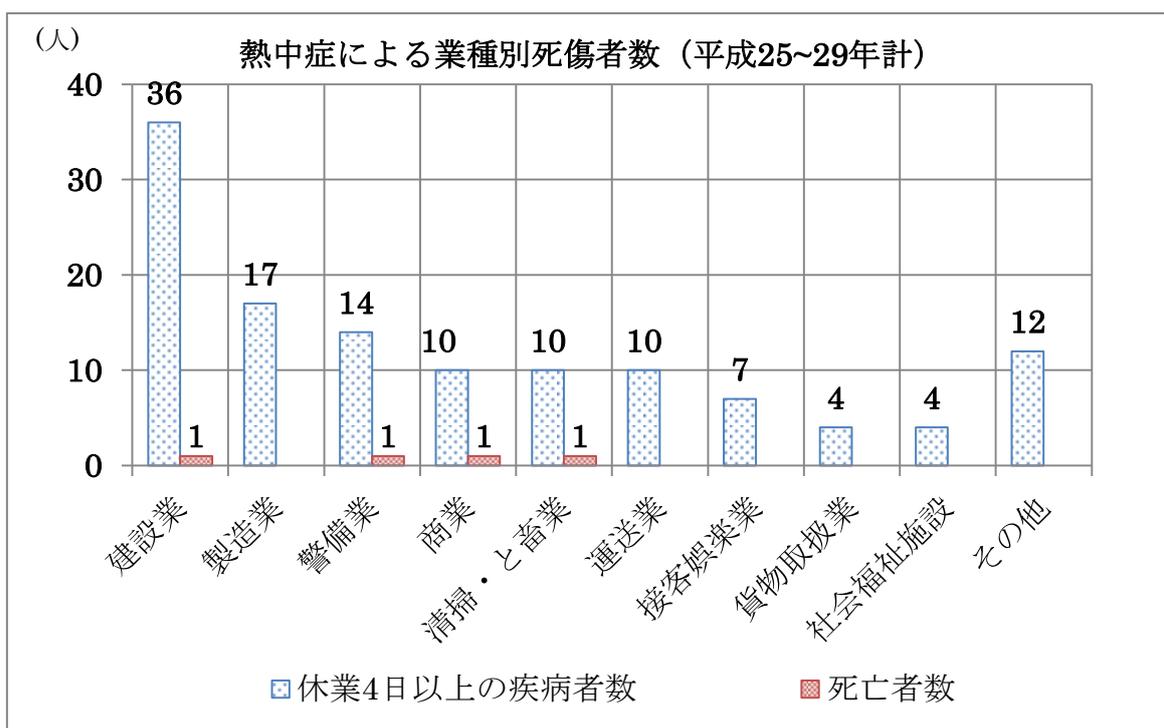
2 業種別発生状況（平成25～29年）

第12次労働災害防止推進計画（以下、12次防という。）期間中の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業が最も多く29.0%である。次いで製造業、警備業で多く発生しており、これら3業種で全体の54.0%を占めた。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（平成 25～29 年）（人）

業種	建設業	製造業	警備業	商業	清掃・と畜業	運送業	接客娯楽業	貨物取扱業	社会福祉施設	その他	計
計	36 (1)	17 (0)	14 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (0)	7 (0)	4 (0)	4 (0)	12 (0)	124 (4)

() 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数



3 月・時間帯別発生状況

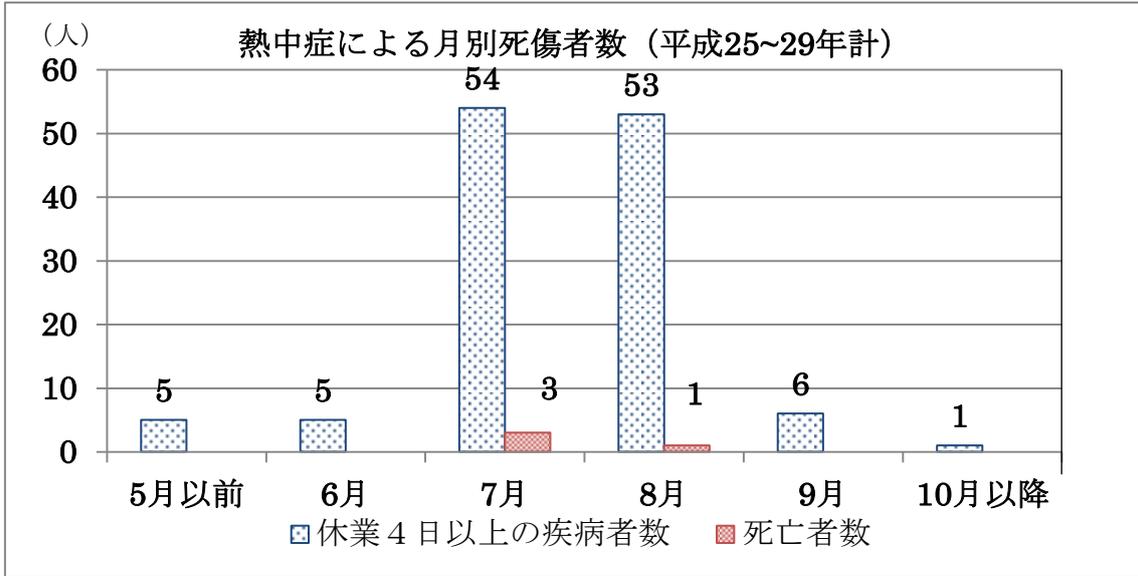
(1) 月別発生状況（平成 25～29 年）

平成 25 年以降の月別の熱中症の死傷者数をみると、全体の 86.3%が 7 月及び 8 月に発生している。

熱中症による死傷者数の月別の状況（平成 25～29 年）（人）

	5 月以前	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月以降	計
計	5 (0)	5 (0)	54 (3)	53 (1)	6 (0)	1 (0)	124 (4)

- ※ 5 月以前は 1 月から 5 月まで、10 月以降は 10 月から 12 月までを指す。
- ※ () 内の数値は死亡者数で内数である。



(2) 時間帯別発生状況（平成25～29年）

平成25年以降の時間帯別の死傷者数をみると、14時を中心に11～15時台に多く発生している。なお、日中の作業終了後に帰宅してから体調が悪化して病院へ搬送されるケースが業種を問わず発生している。

熱中症による死傷者数の時間帯別の状況（平成25～29年） (人)

	9時台 以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台 以降	計
計	13 (0)	6 (0)	13 (0)	10 (1)	9 (0)	17 (0)	14 (1)	12 (0)	10 (1)	20 (1)	124 (4)

※ 9時台以前は0時台から9時台まで、18時台以降は18時台から23時台までを指す。
 ※ () 内の数値は死亡者数で内数である。

